

『ブンナよ、木からおりてこい』は
一九七八年四月二十八日

青年座の本拠地・青年座劇場で産声を上げました
当初は中学校・高校の演劇鑑賞教室として
体育館をめぐり、次には全国の

子ども劇場・おやこ劇場の子どもたちと出会い
それから全国の演劇鑑賞団体の皆さんに
例会として迎えて頂き

中国、ロシア、アメリカ、韓国、と海外にも
出かけて行きました

そして積み重ねた上演回数が一一四〇回
青年座で最も多くの俳優、スタッフがかかわった
青年座の財産演目です

この間、演出家は初演の篠崎光正から始まり
宮田慶子、鈴木完一郎、黒岩亮と変わりました
極めて珍しいことです

その都度私たちは時代の中で「ブンナ」と向き合い
今を生きる人々と共感できる「ブンナ」をつくり
上げて来たのです

二〇一一年三月十一日
私たちは東日本大震災を経験しました
この悲惨な出来事を経て私たちは改めて
この日本で、世界で、生きることを考えました

そして、二〇二二年八月二十日
五代目演出家・磯村純を中心に
新たなスタッフ、キャストで

新生ブンナを立ち上げました
青年座がつくりあげた新たな「ブンナ」に
どうぞご期待下さい

皆さまとの出会いを楽しみにいたしています



ブンナ
逢笠恵祐



老蛙
佐藤祐四



蛙
遠藤好



若蛙
嶋川翔平



物語り
名取幸政



中年蛙
石井淳



子蛙A
橋あんり



子蛙B
坂寄奈津伎



ブンナの母
柳下季里



雀B
香椎凜



ふくろう
山崎秀樹



百舌
豊田茂



蛇
網島郷太郎



鼠
大家仁志

劇団青年座とは

青年座は1954年、森塚敏、成瀬昌彦、天野創治郎、土方弘、中台洋浩、東恵美子、山岡久乃、初井言榮、関弓子、氏家慎子ら十人の俳優によって創立いたしました。「青年座は創作劇をやって行く劇団です。それによって、日本の現実を演劇の中に根を下して行きたいと願うのです。生きて動いているこの社会の中で、直接私達の皮膚に触れる空気を、私達の舞台にしたいからです。」第一回公演『第三の証言』のパンフレットの冒頭に掲げられた宣言文の一節です。青年座は常に時代と向き合って作品をつくり続けています。

劇団青年座 〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-53-12
Tel.03-5478-8571 Fax.03-3465-0335
E-mail info@seinenza.com http://www.seinenza.com
青年座 Twitter アカウント @seinenza